

相馬 ゆうこの

南千住レポート



暮らし・まちづくりの情報を届けます。

荒川区荒川2-2-3区役所内 5階 区議団控え室 ☎ 3802-4627

FAX 3806-9246 メール arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6 2階

TEL・FAX 3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
Twitter @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp



いのちを守る医療・療養を

全国的に感染爆発、医療崩壊がすすみ、区内でも深刻さを増しています。

荒川区は、19日に対策本部会議を開催し、緊急対策を示しました。

いのちを守る 対策に全力を 区内の入院等の状況は、8月18日時点で入院112名・宿泊療養107名・自宅療養245名・合計464名と、過去最大です。



| | 8月11日 | 8月18日 | 増減 |
|------|-------|-------|----|
| 入院 | 99名 | 112名 | 13 |
| 宿泊療養 | 94名 | 107名 | 13 |
| 自宅療養 | 254名 | 245名 | △9 |
| 合計 | 447名 | 464名 | 17 |

日本共産党は ①必要な医療の確保 ②感染防止に大規模な

検査 ③パラリンピックを中止し対策に全力を、と提案しています。9月会議に具体的な対策も提案します。

— 3つの提案 —

- ①全ての患者に必要な医療を（緊急医療施設・宿泊施設を）
- ②感染防止に大規模検査を
- ③パラを中止し、対策に全力を

みなさんのご意見もお寄せ下さい。

— 荒川区の緊急対策 —

コロナ病床 区が確保している女子医大・花と森の東京病院（北区）に確保している病床を12→20床に増床。

また、女子医大で開始した「抗体カクテル療法」を拡大。



同居家族の即時検査実施 区医師会と連携し陽性判定した医療機関で同居家族も即時にPCR検査を実施。

相談看護師 7→10名に増 新型コロナの相談対応にあたる看護師を7→10名に、事務員を3→4名に増員。

自宅療養の支援 新規・拡充

- (1)新たに健康観察を行う看護師3名を配置。訪問看護ステーションと連携し、療養者の状態に応じた訪問対応
 - (2)都医師会と連携し、往診を実施。また、区医師会と協力し、在宅で必要な薬を処方可能に
 - (3)自宅で休日・夜間の急変時の救急相談を、1→3名の体制に。平日も24時間・オンライン診療も開始（株）ファストドクターに委託）
 - (4)食料などの配送体制の充実
- 濃厚接触者となった場合や感染時の健康観察など、保健所からの連絡は、固定電話ではなく携帯電話番号からかかる場合があります。



健康部保健予防課感染症予防係 ☎3802-3111内線430 FAX3807-1504

政府の感染防止、命を守る必要な医療・療養の責務とともに私たちにも取組みが問われます。子どもたちの感染も増え、学校・保育園の状況も裏面でお知らせします。

女子医大東医療センターが年内で移転に

女子医大東医療センター（西尾久）は、年内に閉鎖し、足立区へ移転します。跡地には、リバーサイド病院を運営する正志会が「(仮称)令和宮前パークサイド病院」を開設する予定です。現在、区と正志会は12月の協定締結にむけ、診療科目や医療体制・地域との連携などについて協議を行っています。



外来は来年2月 区内診療
入院は再来年1月 は12月29日
で終了、2022年1月5日から
「女子医大足立医療センター」
として、足立区江北で開院。現
在の診察券は、移転後も使える
そうです。

跡地の新病院は2022年2月に
外来棟を開院。その後、東病棟
の改修が終了次第、入院を開始
しますが、女子医大移転後、約1年間空白が起きることになり、入院体制の早期整備が要請されます。

区内病床数が減少に

病床は女子医大450床から、
新病院は240床で約半分に減少。

一方、2022年5月頃に町屋の「木村病院」が病床をふやして南千住1丁目に移転、22年10月頃にリハビリ病院の「(仮称)荒千病院」が南千住3丁目に開院予定です。南千住に病院がふえるのは歓迎ですが、これらの増床分は115床です。

荒川区は、足立区・葛飾区との3
区で区東北部医療圏を構成しており、
この医療圏ごとに病床がカウントされ整備されます。大学病院の女子医大移転後の災害時医療・感染症対策など、区民の命を守る医療体制の確保が荒川区に問われます。

| | | 女子医大 | 正志会 | 区 | |
|------|---------|--------------|--------------|------|---------|
| 2021 | 12月 29日 | 区内診療終了・移転 | 基本協定締結 | | |
| 2022 | 1月 5日 | 「足立医療センター」開院 | 新病院 外来棟 開院 | 建物改修 | |
| | 2月 | ↓ | | ↓ | 建物解体・改修 |
| | 3月 | | | | |
| | 4月 | | | | |
| 2023 | 1月 | | 東病棟（入院・外来）開院 | | |

新病院は…240床（ICU20床・リハ110床・一般110床）。日医大と連携し、医師21名以上・看護師約130名、リハスタッフ50名以上で合計300名以上を確保予定。
感染症病床50床を予定しており、産科との両立は困難。正志会と区が協議し、新病院で妊婦健診を行い、出産はリバーサイド病院で実施することも検討中。

〈法律・生活相談〉

9月の定例法律相談日は、9日（木）です。

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、第二木曜午後6時からですが、平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。
お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。
相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 3807-4192

8月に保育園等11園で休園～新学期の対策は!?

子どもたちの感染が拡大、多くは家庭内感染のようです。
家庭内感染から学校感染!? しかし今後、学校や保育園でのクラスターの可能性も否定できません。

8月の子ども関連施設の感染

| | 保育園 保育ママ | 小学校 | 中学校 | 学童 | にこにこ | 計 |
|---------------|-------------|----------|---------|---------|------------|-------------|
| 子ども (症状あり) | 19名 (8名) | 14名 — | 9名 — | 3名 — | 1名 — | 46名 (8名) |
| 職員 (症状あり) | 13名 (8名) | 3名 — | 2名 — | — | 2名 (1名) | 20名 (9名) |

| 施設名 | 休止期間 | 感染者数 | 感染 確認日 |
|---------------|----------|------|-----------|
| ①にじの森保育園 | 8/4~11 | 1名 | 8/3 |
| ②日暮里保育園 | 8/10~16 | 4名 | 8/4 |
| ③にじの樹保育園 | 8/16~24 | 1名 | 8/13 |
| ④原保育園 | 8/16~30 | 5名 | 8/11 |
| ⑤区内家庭的保育 | 8/16~20 | 1名 | 8/16 |
| ⑥ドン・ボスコ保育園 | 8/20~31 | 1名 | 8/19 |
| ⑦汐入小にこにこすくーる | 8/23~28 | 2名 | 8/20 |
| ⑧小台橋保育園 | 8/23~31 | 1名 | 8/21 |
| ⑨まなびの森西日暮里保育園 | 8/23~25 | 1名 | 8/19 |
| ⑩上智厚生館保育園 | 8/23~9/4 | 1名 | 8/21 |
| ⑪タヤけこやけ保育園 | 8/23~9/3 | 1名 | 8/21 |

子どもの大多数は無症状ですが、家族感染で大人が発熱、発症するケースもあるようです。子どもの「症状あり」は17%ですが、今後重症化も心配しなければなりません。

面的に感染!? 面的に感染が増えている?とすれば、抗原検査やPCRなど全子ども世帯に配布し定期的に検査してもいいのではないのでしょうか。

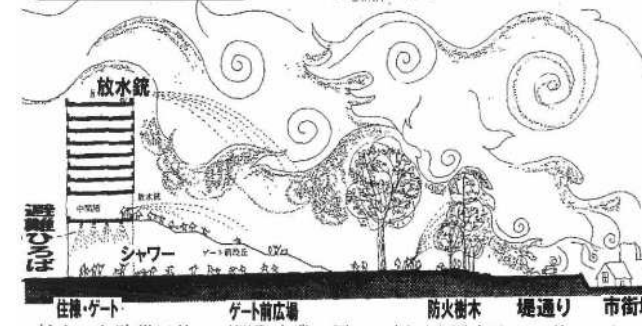
| 判明日 | 施設等 | 陽性者 |
|-------|---------|-------|
| 8月23日 | 原中 | 生徒1 |
| 8月21日 | 汐入小にこにこ | 職員1 |
| 8月20日 | 汐入小にこにこ | 職員1 |
| | 三瑞小 | 児童1 |
| | 四峡小 | 児童1 |
| 8月19日 | 二日小 | 児童3例目 |
| | ドンボスコ保 | 児童1 |
| | 峡田小 | 児童2 |
| | 南二中 | 生徒1 |
| | 汐入さくら保 | 児童1 |
| 8月18日 | 四峡小 | 児童2例目 |
| | 南千住七丁目保 | 児童1 |
| | 尾久八幡中 | 生徒1 |
| 8月17日 | 尾久西小 | 職員1 |
| | 南千住七丁目保 | 職員1 |
| 8月16日 | 九中 | 職員1 |
| | ういず東日保 | 職員2例目 |
| | 上智保 | 児童1 |
| | 尾久八幡中 | 生徒1 |
| | 三中 | 生徒1 |
| | 汐入東小 | 児童1 |
| | 汐入とちのき保 | 職員2例目 |
| 荒川保 | 職員3例目 | |
| 8月15日 | 保育室 | 児童1 |
| | 原保 | 児童1 |
| | 子供の家保 | 児童1 |
| 8月13日 | にじの樹 | 児童1 |
| | 七中 | 生徒1 |
| 8月12日 | 三日小にこにこ | 児童1 |
| | 原保 | 職員1 |

9/1関東大震災と南千住のまちづくり

墨田区側、対岸に見える住宅は約1kmの壁のようです。東京都が主体で白鬚東地区（墨田区側）と白鬚西地区（荒川区側）を一体的に防災再開発を実施。その際、関東大震災の大規模火災の教訓から延焼を遮断することを想定（下図）したのです。



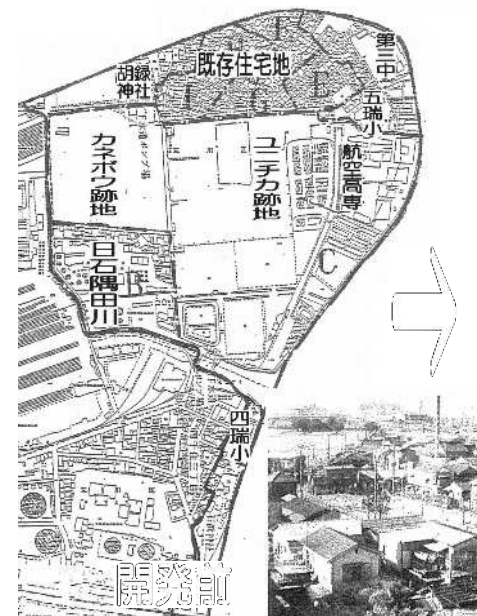
防災拠点の構想で つくられた住宅と公園



白鬚東地区では、住宅などで壁を作り、さらに、住宅間にも可動式壁や住宅の一部は階段状に避難できる設計です。

一方、西地区（荒川区側）はその後、まちづくりの考え方も変化し、住宅や公園の配置を見直し、現在の姿に変化。

白鬚西地区（南千住8丁目と3丁目一部）は1,200戸の既存住宅地の他に広大な紡績工場跡地などの空地を開発しました。



町ぐるみの開発

当初計画では公園を中央部に、隅田川沿いに道路・学校などを配置でしたが、最終的には公園を川沿いに配置しトンネルも作って道路で分断されずに水辺につながる構造になりました。

町ぐるみの再開発は、生活も営業も根底が変わる大事業です。住民の参加・合意なしには完成しませんでした。

フードパントリー（食料無料配布）実施中です

ひとり親世帯や都立大の学生などを対象に、食料などの無料配布（フードパントリー）を実施中です。毎月第2日曜日・場所はフレスコ町屋の隣（町屋2-21-2都電「町屋2丁目」駅徒歩1分）。



食料はお米・野菜・缶詰・乾物などいろいろ。2階は「子ども村ホッとステーション」で、衣類や雑貨の配布、子育てなどの相談や情報提供も行っていきます。毎月100人程度の方が利用しており「食べ盛りの子どもがいるので本当に助かる」など喜ばれています。8



他にも米・野菜などもあります

月は8日(日)12~16時に開催、雨の中ひとり親65世帯・学生11人が利用していました。南千住でもできたらいいな。

次回は9月12日(日)、感染対策のため希望する方は申し込みが必要です。ひとり親の方は、区のホームページから「ひとり親家庭応援メールマガジン」に登録するか、下記に問合せを【あらかわ子ども応援ネットワーク事務局ボランティアセンター ☎03-3802-3338】



左の建物(右はフレスコ町屋)

ご意見・ご質問頂きました。 ○No. 1389区内の埋蔵文化財についてのお知らせの中で、「大量の出土数のために多くが文書による『記録保存』になっている」としましたが、実際は埼玉県にトランクルームを借り、湿度・温度など管理し保存しているようです。展示されていない区の文化財は1,436箱分ありますが、ふるさと文化館に90箱・トランクルームに370箱・残りの約1,000箱は、区施設の倉庫などに保管。1箱は386×590×207cmで15kgほどですから、かなりの量の文化財があるようです。訂正し、ご報告まで。

